

♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



21年 7月 NO. 176

(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～

7月の主な活動

～お気軽にどうぞ～

7月 4日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
7月 7日	火	七夕かざりをつくろう 10:00～12:00	材料もそろっていますので みんなで作ってみましょう。
7月 10日	金	おはなしの会 10:00～12:00	七夕さまのおはなしや 手あそびもあります。
7月 11日	土	木工教室 14:00～16:00	手作りの小物など、オリジナル 作品をどうぞ。
7月 17日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	最近の青少年問題について 話し合ってみましょう。
7月 18日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て体験 できますのでおいで下さい。
7月 18日	土	実用筆書き講座 14:00～16:00	初めて筆書きする方、大歓迎！ (託児予約要)
7月 28日	火	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり 相談できます。(予約要)

・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)
・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放します
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、
保育園生活、入園・見学について
の相談もどうぞ。

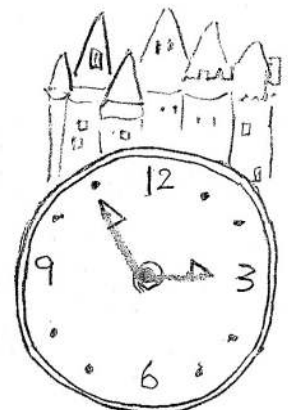
金子みすゞ童謡全集2
美しい町・下より

そして一しよにうたうとき
朝はお日さま眼をさまし、
日はお星が出るならば、
どんなには私はうれしかる。

なかのお部屋にあつまって、
みんな針をまわしたり、
大きな振り子を乗っかって、
遠くの遠くを眺めたり、

こんな時計はないかしら。
三里さきから字が読める、
お城のような、大時計。

子供の時計



今年の5月に四国福祉専門学校社会福祉学科の2年生19人と、5月の体操教室（すみれ・ほし）の時、いっしょに体を動かし、楽しいひとときを過ごしました。その時の様子や、経緯についてその交流記録からご紹介しましょう。

本学の社会福祉学科の学生は、3年間で全課程を修了し卒業する。その3年間で実際に子どもに触れて学ぶ機会というのは、保育園、幼稚園、施設等での実習やボランティア活動にとどまっていた。

今年度より、近隣の各施設の協力の下、学生が実習以外で子どもたちと触れ合う機会が持てるようになった。2年生は、高松保育園の年長児すみれ組、年中児ほし組の体育教室に参加するという形で交流が始まった。この2年生の交流活動は、本学科のリズム表現非常勤講師である森ゆかり先生のご協力の下、実施している。

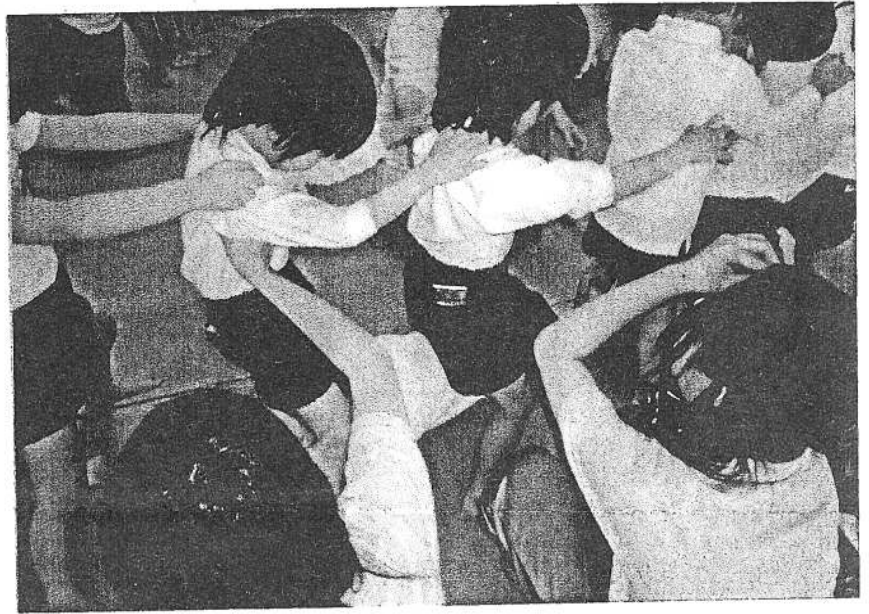
まず学生は、5月11日に年長児すみれ組の体操教室に参加、同月14日に年中児ほし組の体育教室に参加させていただいた。初めは、間近に見る元気な子どもたちの姿に、驚いたり、緊張したりする様子も見られた。しかし、幼児教育や福祉の仕事を見指す学生だけあり、すぐに遊びに参加し、子どもたちと触れ合っていた。場面に応じた臨機応変な対応、主に保育する保育者の動き、それに連動するサブ保育者の動き、コミュニケーション能力の個人差による活動の内容の違いなどは、今後の交流で克服したい点である。

この交流においてもっとも重要なメリットは、学生が子どもと身近に触れ合えるということである。核家族化、少子化が進む現代において、高校を卒業したばかりの学生の身近には、現場で関わる子どもと同年齢の子どもはほとんどいないのが現状である。将来、様々な職場に就職したとき、子どもたちと関わるコミュニケーション能力をこの交流を通して高めさせたい。

今後は、10月に高松保育園の運動会の年長児すみれ組の競技に参加させていただくことになっており、それに向けて、8、9、10月に年長児すみれ組と競技の練習を通して交流する予定である。この交流を通して、学生、園児、保育園職員、園児保護者の心に普段の生活では得られない何かが残ることにも期待したい。



高松保育園との交流の記録 すみれ組（5月11日）



ジャンケン時に友だちを探せなくて、1人で困っている子が何人かいたので、1人の手を引いて「このお友だちとジャンケンしようか」と言ってあげると、ニコッとしてジャンケンしてくれました。子どもの足と足の間をくぐる時、皆すごく楽しそうでした。リレーの時、まだ順番が来ない子同士で嬉しかったので、注意したら一瞬は静かになってくれるけど、またすぐはしゃぎはじめ、ちょっと困りました。先生が話している時、うるさい子がいて「今、先生の話の話を聞いたら後でいっぱい遊んであげる」と言ったら、ちゃんと聞いてくれました。やっぱり子どもはかわいいし、とても勉強になったと思います。

今日は、うまく関われるかなあ、とかすごく不安でした。いざ年長さんと関わって交流してみると、「先生」と呼んでくれて嬉しかったです。ジャンケンゲームの時、下をくぐる子の背中の上に座ったので、注意をしても何回もするので、どうやったらいいのか分らず困ってしまいました。先生が、リレーのルールを話すときにおしゃべりをしている子がいて、「先生がお話しているから先生のほうを向いてお話を聞こうね」と話すと素直に聞いてくれて嬉しかったです。遊びの中で、喧嘩が起きた時、一番近くにいたのに何も出来なくて、先生に助けられました。14日は、年長さんと違い、年中さんなので、動きも違うかもしれないけど、子どもたちと積極的にかかわれたらいいなと思います。

朝のお礼の時に、子どもたちがしっかりと正座をしてちゃんと前を向いて座っているのを見て、とてもすごいなと思いました。

交流の時間は、とても楽しそうだなと思いました。年長さんは、とても元気で思いっきり体操をしているなと感じました。先生がルールの説明をした後に、子どもたち同士で「これは〇〇したらいいんやろ？」などと会話していました。他の人や友だちなどと確認しあうこともしっかり出来るんだと思いました。遊びの中で、どのように子どもを動かしたらスムーズに行うことが出来るのかということなどを、もっと考え、行動できたらよかったです。



高松保育園との交流の記録 ほし組（5月14日）

今日は4歳児担当でした。やっぱり1年違うとぜんぜん違うなと思いました。先生の話の聞いたり、運動に集中するといったことが違うなと感じました。4歳児は、1回言っただけでは理解しにくいと思いました。

子どもたちに何かを伝える時には、ゆっくりていねいに話すことが大切だということを実感しました。風船つきの回数を数える時、25を過ぎた頃から学生だけしか数えていませんでした。

今日の経験は、今までにしたことのない貴重な経験が出来ました。



くつつき遊びの中で、子どもたちが先生の方を見ながら、次に何に触るかワクワクして楽しんでいました。風船リレーの時は、ちゃんと言うことを聞いていたけれど、風船つきになるとみんなで風船を取りに行くのに夢中になって危ないと思いました。でも、みんなとても楽しんでいるなと思いました。

指導者の先生が、カスタネットを叩くと、体育座りをして聞いていた。話を聞いていない子には「次は何をするのかな」と言う話を聞いてくれました。風船つきで円になるのも難しそうでした。皆、風船に触りたくて友だちを押ししたりして、少し危ないと思いました。後、どうしても風船に触れない子がいたので、その子のところに風船をパスしました。あそびに夢中になると、周りが見えなくなるのでその点は気をつけることが大切だと思いました。

年中児は年長児とは違い、言葉の発達の違いを感じ、時計の反対周りが分からないという難しさをどう説明すればいいのか、分かりませんでした。

いきなり抱きつかれたりして、少しびっくりしましたが、嬉しかったです。1歳違うことでの対応の仕方の違いに気をつけたいです。